

渡辺 美知子 (わたなべ みちこ)

福岡県出身。一橋大学社会学部卒業。東京外国語大学大学院地域文化研究科博士前期課程修了。修士(言語学)。東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得退学。東京大学大学院新領域創成科学研究科博士課程修了。博士(科学)。ドイツ, ミュンヘン大学日本研究センター講師, 東京大学教養学部, 同留学生センター非常勤講師等を経て, 現在, 東京大学大学院新領域創成科学研究科特任研究員。日本語の話し言葉の特徴, 特に, フィラーを初めとする言い淀みの研究に従事。

主な著書・論文

Watanabe, M. (2009) *Features and Roles of Filled Pauses in Speech Communication -A corpus-based study of spontaneous speech* (Hituzi Linguistics in English)

Watanabe, M., Hirose, K., Den, Y., Minematsu, N. (2008) Filled pauses as cues to the complexity of upcoming phrases for native and non-native listeners. *Speech Communication* 50, 81-94.

渡辺美知子・広瀬啓吉・伝康晴・峯松信明 (2006) 「音声聴取時のフィラーの働き - 「エート」による後続句の複雑さ予測 -」『日本音響学会誌』 vol.62 (5), 370-378.